

2019年度 第3四半期 決算概要

2019年11月5日
サントリー食品インターナショナル株式会社

サントリー食品インターナショナル社、三野でございます。

それでは早速、2019年度第3四半期決算について、説明いたします。

	2018年 1-9月実績	2019年 1-9月実績	対前年			
			増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立
売上収益	9,721 億円	9,806 億円	+85	+240	+0.9%	+2.5%
営業利益	944 億円	906 億円	△38	△19	△4.0%	△2.1%
既存事業ベース* 営業利益	836 億円	912 億円	+76	+94	+9.0%	+11.5%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	658 億円	578 億円	△80	△68	△12.2%	△10.5%

* 「その他の収益」「その他の費用」のうち非経常的な要因により発生した要素を除いた値

©2019 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

売上は、9,806億円、前年同期に比べて為替中立で、2.5%の増収となりましたが、レポーティングベースでは、0.9%の増収となりました。

営業利益は、前年に計上した、加工食品事業の売却益120億円などの、非経常的要因を除いた既存事業ベースは、為替中立で、11.5%増の912億円となりました。レポーティングベースでは、9%増となりました。これらの、非経常的要因も含めて計算した営業利益は、為替中立で、2.1%減の906億円、レポーティングベースでは、4%減となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年の売却益が、非課税だったことなどから、為替中立で、10.5%減の578億円となりました。

アジア飲料事業が好調に推移する一方で、日本をはじめとする一部地域で、悪天候の影響を受けましたが、全体としては、まずまずの業績だったと捉えています。

各地域で、構造改革が進展している成果と言えますが、構造改革はまだ道半ばであり、残されている課題もあります。引き続き、着実に取り組みを進めていきたいと考えています。

3 ページをご覧ください。

	売上収益	対前年				セグメント利益	対前年			
		増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立		増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立
日本	5,354 億円	△14	-	△0.3%	-	440 億円	+42	-	+10.4%	-
欧州	1,743	△146	△25	△7.7%	△1.4%	273	+6	+22	+2.2%	+8.6%
アジア	1,703	+222	+227	+15.0%	+15.3%	176	△85	△85	△32.6%	△32.4%
既存事業ベース							+31	+32	+21.5%	+22.4%
オセアニア	384	△4	+23	△1.1%	+6.2%	35	△0	+2	△1.3%	+6.2%
米州	622	+27	+29	+4.5%	+5.0%	65	+0	+0	+0.0%	+0.5%
調整額						△83	+1	△0		
連結	9,806	+85	+240	+0.9%	+2.5%	906	△38	△19	△4.0%	△2.1%
既存事業ベース							+76	+94	+9.0%	+11.5%

セグメント別の業績です。

売上は、為替中立では、日本・欧州において前年をやや下回った以外は、すべてのセグメントで増収となりました。なかでもアジアが引き続き大きく伸長しました。

既存事業ベースのセグメント利益は、為替中立で、日本とアジアを中心に全リージョンで増益となり、全社では2ケタの増益率となりました。

次ページより、セグメント毎にご説明します。4ページをご覧ください。

売上収益

増減率

セグメント利益

増減率

5,354 億円 △0.3%

440 億円 +10.4%

- 7月悪天候が影響し、販売数量は2%減
- トクホ・機能性の販売トレンドは引き続き改善
- コスト削減活動や販促広告費の減少が増益に寄与
ただし、7-9月利益は7月悪天候による減収影響で前年並



©2019 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

4

まず、日本です。

今年は、梅雨明けが、昨年比べて約1か月遅れた結果、7月単月の、市場全体の販売数量は、19%減少したと想定されます。8月と9月で幾分挽回したものの、7-9月は4%減少となり、1-9月の市場は、3%減少したと推定されます。その中で、当社の販売数量は、7-9月は5%減少、1-9月は2%減少となりました。

売上は、販売数量減の影響を受けたものの、引き続き、トクホ・機能性の販売トレンドが改善したことに加えて、大容量ペットボトル商品の値上げ等により、0.3%減の5,354億円と、ほぼ前年並となりました。

7-9月は、販売数量5.0%減に対して、売上は1.8%の減収と、販売単価が、引き続き回復傾向にあります。

売上がほぼ前年並の中で、セグメント利益は、SCM活動においてコスト削減活動が進展したこと、販促広告費の投入時期を戦略的に見直した結果、前年に比べて減少したこと等により、10.4%の増益となりました。なお、7-9月は、昨年の物流混乱に伴う一時コストの反動があるものの悪天候による減収影響が大きく、前年並に留まりました。

中期構造改革に関しては、「高付加価値・高収益モデルの確立」「SCMの構造革新」は着実に進捗しています。

「自販機ビジネス」は業界全体で、売上のダウントレンドが続き、オペレーションコストや、販売促進費が、増大傾向にあります。当社においても、構造改革にはまだしばらく時間がかかりますが、着実に取り組みを進めております。

5 ページをご覧ください。

売上収益	増減率 為替中立	セグメント利益	増減率 為替中立
1,743 億円	$\Delta 7.7\%$ $\Delta 1.4\%$	273 億円	$+2.2\%$ $+8.6\%$

	売上	増減率	為替中立	
フランス (*1)	744 億円	$\Delta 9.9\%$	$\Delta 3.8\%$	引き続き「Oasis」が苦戦して減収だが、主力ブランドへの活動集中が奏功し、7-9月売上収益は前年並まで回復。
英国 (*2)	462 億円	$\Delta 2.5\%$	$+3.9\%$	「Lucozade Energy」が引き続き伸長。
スペイン (*3)	380 億円	$\Delta 11.7\%$	$\Delta 5.8\%$	家庭用活動の強化等を進めるが、業務用市場の市況低迷が続き、減収。

(*1) フランス、ベルギー (*2) 英国、アイルランド (*3) スペイン、ポルトガル



次に欧州です。以降、為替中立で申し上げます。

売上は、英国が好調に推移した一方で、フランスとスペインで減収となり、1.4%の減収となりました。

セグメント利益は、英国の、売上増による増益に加え、フランスで、SCM活動の進展や、マーケティング費用の戦略的な投下によりコストが削減したほか、原材料市況の改善によって原価が低減し、欧州全体で8.6%の増益となりました。

フランスは、主力ブランドの「Oasis」が苦戦し、3.8%の減収となりました。ただし、主力ブランドへの活動集中が奏功し、7-9月の売上は前年並まで回復してきました。

英国は、引き続き「Lucozade Energy」が伸長し、3.9%の増収となりました。

スペインは、業務用市場の低迷が続く中、家庭用の活動強化などにより、「Schweppes」の販売数量は、前年を上回りましたが、スペイン全体では5.8%の減収となりました。

ポートフォリオの見直しを進めるなど、トレンド改善に努めていますが、事業回復にはまだしばらく時間がかかるとみています。

6ページをご覧ください。

	売上収益	増減率	為替中立	セグメント利益	増減率	為替中立
	1,703 億円	+15.0%	+15.3%	176 億円	△32.6%	△32.4%
既存事業 ベース					+21.5%	+22.4%

	売上	増減率	為替中立	
飲料 (ベトナム)	633 億円	+13.4%	+15.8%	市場の伸長に加えて、エナジードリンク「Sting」、茶飲料「TEA+」等主力ブランドの好調が継続。
飲料* (タイ)	485 億円	+59.0%	+55.3%	引き続き増収。 10月の砂糖税増税に向けて7月以降順次値上げを実施。
健康食品	373 億円	△2.8%	△4.1%	流通政策の見直しを進め、 7-9月の売上収益はほぼ前年並まで回復。

*飲料（タイ）：前年実績は7ヶ月分のみ。（昨年3月に事業を開始したため）

©2019 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.



6

次にアジアです。

売上は飲料事業が引き続き大きく伸長した結果、15.3%の増収、セグメント利益は、既存事業ベースで22.4%の増益となりました。

なお、タイ飲料事業を3-9月の7か月間として、アジア全体を前年と比べると、売上は、10%台前半の増収、既存事業ベースの利益は10%台半ばの増益となります。

ベトナムは、市場が、数量ベースで二桁近い伸長と推定される中、当社は、引き続き主力ブランドのエナジードリンク「Sting」や茶飲料「TEA+」等が好調で、15.8%の増収となりました。

タイは、10月の砂糖税増税に向けて、7月以降順次値上げを行った結果、上期に比べると、成長ペースは落ち着いたものの、引き続き増収。3-9月の7か月間で比べても、20%台半ば程度の増収となりました。

健康食品事業は、「Essence of Chicken」や「Bird's Nest」が苦戦し、4.1%の減収となりましたが、主力市場のタイにおいて、流通政策を強化した結果、7-9月の売上は、前年並まで回復してきました。

7ページをご覧ください。

オセアニア

売上収益

増減率 為替中立

384 億円 $\Delta 1.1\%$ +6.2%

セグメント利益

増減率 為替中立

35 億円 $\Delta 1.3\%$ +6.2%

売上

増減率 為替中立

フルコアサントリー 289 億円 $\Delta 0.2\%$ +6.7%フレッシュコーヒー事業 96 億円 $\Delta 3.6\%$ +4.9%

米州

売上収益

増減率 為替中立

622 億円 +4.5% +5.0%

セグメント利益

増減率 為替中立

65 億円 +0.0% +0.5%

最後に、オセアニアと米州です。

オセアニアは、フルコアサントリー、フレッシュコーヒー事業ともに増収、セグメント利益も全体で6.2%の増益となりました。

米州は、堅調なトレンドが継続し、増収増益となりました。

年間業績予想の修正について

次に、2019年12月期通期の業績予想についてご説明します。

9 ページをご覧ください。

	2018年 実績	2019年 修正予想	従来予想 との 差異	対前年			
				増減	為替中立	増減率	為替中立
売上収益	12,943 億円	12,970 億円	△160	+27	+259	+0.2%	+2.0%
営業利益	1,136	1,110	+10	△26	△3	△2.3%	△0.3%
既存事業ベース 営業利益	1,084	1,120	+10	+36	+62	+3.3%	+5.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	800	680	+15	△120	△101	△15.0%	△12.9%

©2019 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

9

今年2月に発表した年間業績予想について、
第3四半期までの実績、および、第4四半期の見通しを踏まえ、
業績予想を修正します。

売上は、為替中立では、年初予想から変更ありませんが、
レポーティングベースでは、為替による減益影響分160億円を下方修正し、
1兆2,970億円とします。

前年同期と比べますと、為替中立では、年初予想と同じ2.0%の増収ですが、
主に欧州とオセアニアの通貨安の影響を受けた結果、レポーティングベースでは
年初予想の1.4%増から、0.2%の増収に修正となります。

営業利益は、1,110億円、既存事業ベース営業利益は、1,120億円に上方修正します。
為替中立では、年初予想を、それぞれ30億円超過する見込みですが、
レポーティングベースでは、為替による影響があり、
それぞれ、10億円の上方修正となります。

なお、配当は、年初予想通り78円を予定しています。

次ページで、セグメント別の業績予想をご説明します。
10ページをご覧ください。

2019年度業績予想(IFRS) (セグメント別)

	売上収益						セグメント利益	セグメント利益					
	従来予想との差異	対前年				従来予想との差異		対前年					
	増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立	増減(億円)	為替中立	増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立			
日本	7,030 億円	△60	△57	-	△0.8%	-	535 億円	+5	+8	-	+1.6%	-	
欧州	2,200	△250	△189	△23	△7.9%	△1.0%	315	+24	+41	+8.1%	+14.9%		
既存事業ベース							325	△5	△4	+16	△1.3%	+5.0%	
アジア	2,360	+170	+286	+297	+13.8%	+14.4%	235	+10	△57	△55	△19.4%	△19.1%	
既存事業ベース							235	+10	+38	+40	+19.2%	+20.5%	
オセアニア	510	△20	△32	+10	△5.9%	+1.9%	65	+1	+6	+2.0%	+10.0%		
米州	870		+20	+32	+2.3%	+3.8%	85	+0	+1	+0.1%	+1.4%		
調整額							△125	△5	△2	△4			
連結	12,970	△160	+27	+259	+0.2%	+2.0%	1,110	+10	△26	△3	△2.3%	△0.3%	
既存事業ベース							1,120	+10	+36	+62	+3.3%	+5.9%	

©2019 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

10

日本です。

売上は、7月悪天候の影響が大きく、60億円の下方修正となります。

一方で、営業利益は、値上げを含む構造改革が

着実に進捗していることから、年初想定に比べて、5億円の上方修正としました。

第3四半期までの2ケタ増益が、通年では1.6%の増益にとどまりますが、

これは第4四半期に、以下の事項を見込んでいるためです。

- 1) 10月の台風の影響
- 2) 去年の、好天に恵まれていた売上の反動
- 3) 自販機の、厳しいトレンド継続
- 4) 高付加価値商品を中心に、ブランド投資を積極的に投入

の以上4つです。

欧州です。

売上は、第3四半期までの業績を踏まえ、年初想定には未達、となる見込みです。

さらに、為替と、期中に、アフリカビジネスを、アジアセグメントに事業移管したことによる影響と合わせて、250億円の下方修正となります。

営業利益は、フランスのサプライチェーンコスト削減などが順調に進み、年初予想を上回る見込みです。一方で、為替の影響、並びに、事業移管による影響があり、年初予想を据え置きます。

アジアは、

売上は、好調な業績を引き続き見込み、年初予想を上回ると見込んでいます。

さらに、為替の影響と、事業移管分を加え、170億円の上方修正とします。

利益も、好調な業績を踏まえ、年初予想を上回ると想定しています。

事業移管分も含めて、10億円の上方修正です。

オセアニアは、売上は、為替の影響で、20億円の下方修正とします。

利益は、年初予想を据え置きます。

米州は、売上、利益とも、年初予想を据え置きます。

SUNTORY

SUNTORY BEVERAGE & FOOD

以上、セグメント別にご説明させていただきました。

今年も残すところあと2か月となりました。

引き続き、各リージョンでスピード感をもって構造改革を進めて参ります。

私からは以上です。

■ 2019年度第3四半期（7-9月）実績(IFRS)

	2018年 7-9月実績	2019年 7-9月実績	対前年			
			増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立
売上収益	3,582 億円	3,528 億円	△54	+21	△1.5%	+0.6%
営業利益	380 億円	397 億円	+17	+28	+4.6%	+7.7%
既存事業ベース 営業利益	386 億円	398 億円	+11	+22	+2.9%	+6.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	245 億円	260 億円	+15	+17	+6.2%	+7.0%

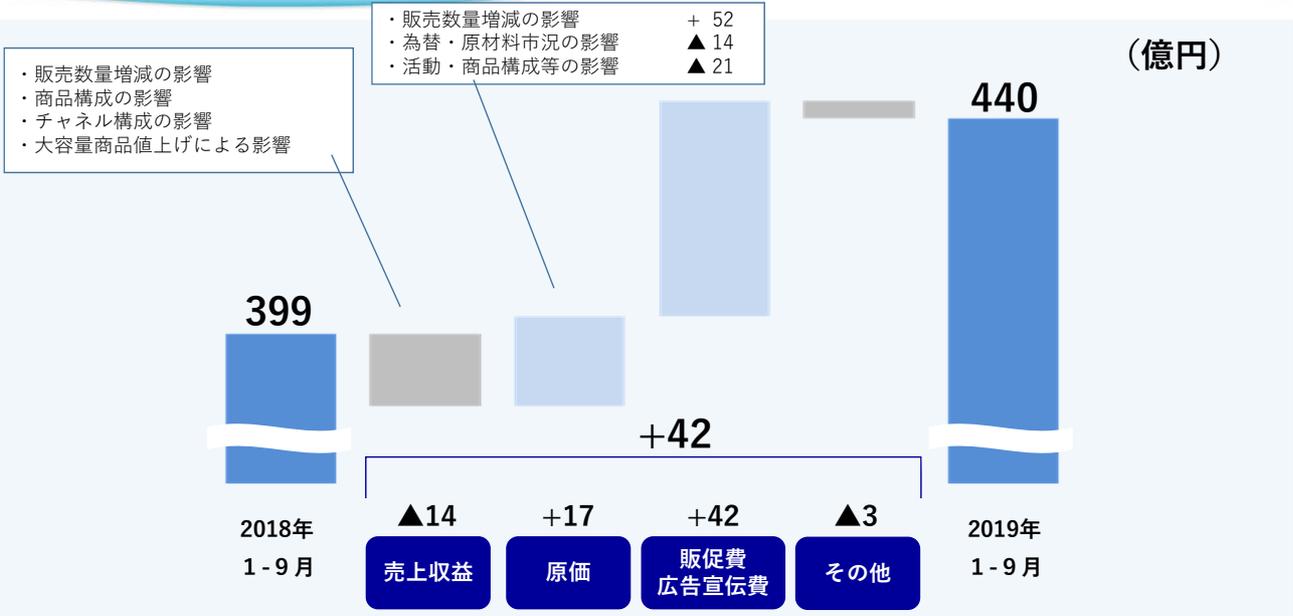
■ 売上収益 2019年四半期別実績(IFRS)

(億円)	第1四半期 (1-3月)	対前年				第2四半期 (4-6月)	対前年				第3四半期 (7-9月)	対前年			
		増減	為替 中立	増減率	為替 中立		増減	為替 中立	増減率	為替 中立		増減	為替 中立	増減率	為替 中立
日本	1,507	+2	-	+0.2%	-	1,853	+19	-	+1.1%	-	1,994	△36	-	△1.8%	-
欧州	468	△30	△2	△6.1%	△0.5%	643	△58	△21	△8.3%	△3.1%	632	△57	△2	△8.3%	△0.3%
アジア	570	+108	+110	+23.3%	+23.9%	582	+81	+82	+16.1%	+16.3%	550	+33	+35	+6.5%	+6.8%
北ア-ア	129	△7	+2	△4.9%	+1.4%	125	△2	+6	△1.5%	+4.8%	130	+4	+15	+3.5%	+13.1%
米州	183	+13	+9	+7.4%	+5.5%	216	+13	+12	+6.5%	+5.6%	223	+1	+8	+0.5%	+3.9%
連結	2,857	+86	+121	+3.1%	+4.4%	3,421	+53	+98	+1.6%	+2.9%	3,528	△54	+21	△1.5%	+0.6%

■ セグメント利益 2019年四半期別実績(IFRS)

(億円)	第1四半期 (1-3月)	対前年				第2四半期 (4-6月)	対前年				第3四半期 (7-9月)	対前年			
		増減	為替 中立	増減率	為替 中立		増減	為替 中立	増減率	為替 中立		増減	為替 中立	増減率	為替 中立
日本	65	+13	-	+24.8%	-	162	+25	-	+18.0%	-	214	+4	-	+1.9%	-
欧州	41	△1	+1	△1.8%	+3.7%	106	△3	+2	△3.0%	+2.0%	126	+10	+18	+8.4%	+16.8%
アジア	71	△99	△98	△58.4%	△58.2%	56	+13	+11	+30.2%	+25.7%	49	+1	+2	+1.5%	+5.1%
既存事業ベース		+13	+14	+23.6%	+25.5%		+16	+15	+40.2%	+35.0%		+2	+4	+3.8%	+7.5%
セブニア	14	△1	△1	△9.7%	△4.1%	12	△2	△1	△13.1%	△7.7%	9	+3	+4	+48.4%	+70.4%
米州	15	△0	△0	△0.4%	△2.2%	23	△0	△0	△0.4%	△1.3%	27	+0	+1	+0.7%	+3.6%
調整額	△27					△28					△28				0
連結	178	△88	△85	△33.1%	△32.2%	331	+33	+37	+11.0%	+12.6%	397	+17	+28	+4.6%	+7.7%
既存事業ベース		+26	+29	+16.8%	+19.3%		+38	+43	+13.0%	+14.6%		+11	+22	+2.9%	+6.0%

(億円)



日本

(単位：百万C/S)	2018年第3四半期		2019年第3四半期		2019年通期予想	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減	予想	対前年 増減
サントリー天然水	92.1	10%	86.3	△6%	112.0	△4%
B O S S	77.9	9%	82.3	6%	111.0	4%
伊右衛門	40.8	△5%	38.5	△6%	51.0	△5%
サントリー烏龍茶	20.2	1%	18.9	△7%	24.8	△7%
P E P S I	15.4	△10%	15.7	1%	20.0	△1%
グリーンダカラ	30.9	22%	34.6	12%	42.0	11%
特定保健用食品 および 機能性表示食品 計	17.5	△13%	17.8	2%	23.3	△0%
日本事業 販売数量 合計	353.0	4%	347.4	△2%	453.6	△2%

※出荷ベース

※上記数字には

(株)ジャパンビバレッジホールディングス等による
他社仕入分の販売数量は含まれていません。

欧州

(単位：百万L)	2018年第3四半期		2019年第3四半期	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減
オランジーナ (フランス)	131	4%	130	△1%
オアシス (フランス)	225	5%	214	△5%
シュウェップス (スペイン、ポルトガル)	102	△5%	104	2%
ルコゼード (英国、アイルランド)	290	△0%	312	7%
ライビーナ (英国、アイルランド)	79	△2%	67	△15%

■ 主要為替レート

(円、期中平均)

	2018年 1-9月実績	2019年 1-9月実績	2019年 年間予想	2019年 年初予想
米ドル	109.6	109.2	109	111
ユーロ	130.9	122.6	121	129
英ポンド	148.1	139.0	137	144
シンガポールドル	81.8	80.0	80	81
タイバーツ	3.4	3.5	3.5	3.4
ベトナムドン	0.0048	0.0047	0.0047	0.0048
ニュージーランドドル	76.7	72.5	71	73
豪ドル	83.1	76.3	75	80

本資料は情報提供のために作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

本資料には、当社又は当社グループの今後の業績等に関連して将来に関する記述を含んでおります。将来に関する記述は、現在入手可能な情報を踏まえて、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等は、これらの種々の要素によって変動するため、本書作成時点と異なる可能性もあります。

当社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。